

先端科学技術研究科 修士論文要旨

| | | | |
|------------------|--|-----|--------------|
| 所属研究室 (主指導教員) | ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授)) | | |
| 学籍番号 | 2411228 | 提出日 | 令和 8年 1月 19日 |
| 学生氏名 | 橋本 清斗 | | |
| 論文題目 | 大規模言語モデルを用いた自由記述データの質的分析支援 | | |
| 要旨 | <p>医療・ヘルスケア分野では患者アンケートやインシデントレポートなどの自由記述データが大量に蓄積されており、これらは選択式回答では捉えきれない患者の声やインシデントの詳細を含む重要な情報源である。しかし、グラウンドセオリー・アプローチ(GTA)に代表される従来の質的研究手法は手作業による分析に多大な時間とコストを要するため、大規模データへの適用が困難であった。そこで本研究では、GTAのプロセスを模倣した大規模言語モデル(LLM)による質的分析支援手法を提案した。提案手法では、LLMを用いて自由記述からタグを生成し、タグ間の類似性に基づいて段階的に統合することで概念を抽出する。患者アンケートおよびインシデントレポートを用いた評価実験の結果、提案手法により人手分析と一定の整合性が得られることを確認し、1万件を超える大規模データへの適用と分析目的に応じた柔軟な概念抽出が可能であることを示した。本研究の成果は、従来は膨大な労力を要していた質的データ分析の効率化に寄与するものである。</p> | | |